

「成瀬ダム建設マネジメント委員会」開催

～ 7月18日(金) 湯沢グランドホテルにて ～

湯沢河川国道事務所では、成瀬ダム建設事業の実施にあたり、事業費管理や工程管理の充実を図ることを目的に、コスト縮減策やその事業実施状況、工事進捗状況等について第三者の意見を求める機関として「成瀬ダム建設事業マネジメント委員会」を設立し、第一回委員会を下記のとおり開催します。

記

1. 開催日時 : 平成20年7月18日(金) 14:00～16:00
2. 会場 : 湯沢グランドホテル
3. 主催 : 湯沢河川国道事務所
4. 議事内容 : ○成瀬ダム事業概要報告  
○事業の実施状況・進捗状況について  
○成瀬ダム工事事務所のコスト縮減について
5. 報道取材ならびに傍聴について :
  - ・委員会の取材は、「成瀬ダム事業概要報告」までとさせていただきます。
  - ・なお、委員会終了後に議事内容について説明させていただきます。
  - ・取材中は、社名腕章等の着用をお願いします

添付資料 趣意書・委員名簿

発表記者会 : 秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・湯沢支局

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

〒012-0863 湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL : 0183-73-5539(開発工務課)

事業対策官 大場 将 (内線 306)

開発工務課長 斉藤 明 (内線 381)

## 成瀬ダム建設事業マネジメント委員会

### 趣 意 書

雄物川は 秋田、山形県境に位置する大仙山に源を発し日本海に注ぐ幹川流路延長 133km、流域面積 4,710km<sup>2</sup> の一級河川である。成瀬ダムは雄物川水系皆瀬川の右支川成瀬川の上流、雄勝郡東成瀬村椿川地内に建設される多目的ダムである。

雄物川の流域は幾度となく大きな洪水被害に見舞われており、特に昭和 47 年 7 月には戦後最大規模の洪水があり、この洪水をきっかけに河川の改修計画が見直された。その後、平成 6 年の「雄物川水系工事实施基本計画」の改定により成瀬ダムが上流ダム群の 1 つに位置付けられた。また、たびたび発生する沿川の水不足が深刻な社会問題となっている。

こうしたことから、成瀬ダムは治水機能と、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、発電の利水機能を持つ多目的ダムとして計画されている。

ダム建設事業は、多種で長期に渡る工程と多額の事業費を必要とするプロジェクトである。その間に事業進捗や社会情勢の変化により、事業内容の変更およびそれに伴う総事業費の変更が余儀なくされる事例が見受けられるところである。一方、公共事業については、一層のコスト縮減、工期遵守に取り組んでいくことが求められている。

このため、成瀬ダム建設事業全般における実施状況・進捗状況等について確認を行い、事業費・工程管理の一層の充実を図るため、本委員会を設立するものである。

成瀬ダム建設事業マネジメント委員会 委員名簿

区 分		氏 名	所 属	役職名
学識者	治 水	松富 英夫	秋田大学工学資源学部	教授
	経 済	沼倉 雅枝	監査法人トーマツ公認会計士	シニアマネージャー
ダム専門家		吉田 等	(独)土木研究所	地質監
利水者	上水道	小野田 稔	湯沢市	水道課長
		伊藤 隆	横手市上下水道部	水道配水課長
		岩谷 友一郎	大仙市水道局	上水道課長
	発 電	進藤 鋼司	秋田県産業経済労働部	参事(兼)公営企業課長
秋田県		神居 勝康	秋田県建設交通部	参事(兼)河川砂防課長